

第34回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会プログラム

理事会

高木会館 5階B会議室

2月4日(金) 12:10~13:00

パネルディスカッション『嚥下障害患者診療の取り組み - 現状と今後の対策 - 』
A会場 (3階講堂)

2月4日(金) 16:45~18:15

司会：久 育男 (京都府立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

「豊島区における対応 - 歯科医師、多職種との共同での取り組み - 」

部坂 弘彦 (東京都豊島区)

「 - 病診連携を見据えたチーム作りの必要性 - 多施設の診療に参加している現場開業医の実感」

西山 耕一郎 (西山耳鼻咽喉科医院)

「地域病院との取り組み - リハ科の場合 - 」

武原 格 (東京都リハビリテーション病院 リハビリテーション科)

「病診連携の取り組み - 大学病院の場合 - 」

唐帆 健浩 (杏林大学医学部耳鼻咽喉科学教室 杏林大学摂食嚥下センター)

特別講演

A会場 (3階講堂)

2月5日(土) 11:00~12:00

司会：藤島 一郎 (浜松市リハビリテーション病院)

「嚥下障害 神経内科医として考えたこと」

井上 聖啓 (札幌山の上病院 豊倉康夫記念神経センター)

ランチョンセミナー

B会場 (5階講堂)

2月5日(土) 12:00~13:00

司会：高柳 博久 (富士市立中央病院 耳鼻咽喉科)

「PEGの功罪」

鈴木 裕 (国際医療福祉大学 外科)

評議員会

高木会館 5階B会議室

2月5日(土) 12:10 ~ 12:50

総会

A会場 (3階講堂)

2月5日(土) 13:00 ~ 13:30

教育セミナー 1 『嚥下障害患者診察のポイント』

A会場 (3階講堂)

2月5日(土) 16:00 ~ 17:00

司会：田山 二郎 (国立国際研究センター 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

「リハビリテーション科の立場から」

本多 知行 (佐賀社会保険病院 リハビリテーション科)

「神経疾患の嚥下障害 脳梗塞について」

巨島 文子 (京都第一赤十字病院 リハビリテーション部神経内科)

「嚥下障害に悩む患者を如何に診察し、理解するべきか？」

三枝 英人 (日本医科大学 耳鼻咽喉科学教室)

教育セミナー 2 『嚥下改善手術』

B会場 (5階講堂)

2月5日(土) 16:00 ~ 17:00

司会：鹿野 真人 (大原総合病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科頸部顔面外科)

「誤嚥防止術」

鮫島 靖浩 (熊本大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

「嚥下機能改善手術」

津田 豪太 (福井県済生会病院 耳鼻咽喉科・頸部外科)

2月4日(金)

9：30～10：42

第1群「症例1」

座長：鈴木 康司（国立障害者リハビリテーションセンター病院 耳鼻咽喉科）

- 1-1 転倒後に発症した特異な嚥下障害の一例
門園 修（日本医科大学付属病院 耳鼻咽喉科学教室）
- 1-2 喉頭機能の再建に苦慮した喉頭交通外傷後の1症例
堤内 亮博（国立国際医療研究センター 耳鼻咽喉科・頭頸部外科）
- 1-3 不当に3年間にわたって経口摂取を禁じられていた一例
山口 智（日本医科大学付属病院 耳鼻咽喉科学教室）
- 1-4 複数の施設によるチームアプローチが有効であった重度嚥下障害の1例
遠藤 裕子（大和徳洲会病院 リハビリテーション室）
- 1-5 若年者の摂食嚥下障害に対し嚥下造影を用いた食事指導が有用であった2例
横山 秀二（福島県立医科大学 耳鼻咽喉科）
- 1-6 縦隔病変による食道期嚥下障害の2症例
佐藤 聡（福島県立医科大学 耳鼻咽喉科）

10：42～12：06

第2群「神経・筋疾患」

座長：巨島 文子（京都第一赤十字病院 リハビリテーション部神経内科）

- 2-1 延髄動静脈瘤からの脳幹出血により、輪状咽頭筋機能不全による重度嚥下障害を呈した1症例
青野 幸余（独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター リハビリテーション科）
- 2-2 嚥下性失神が疑われた1例
三橋 拓之（久留米大学医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座）
- 2-3 バルーンカテーテル訓練法により嚥下障害が改善した封入体筋炎の2例
仙石 錬平（東京慈恵会医科大学 神経内科）
- 2-4 咀嚼しては吐き戻すことが習慣化した球麻痺児の嚥下リハビリテーションの経験
木村 幸（京都第一赤十字病院 リハビリテーション科）
- 2-5 経鼻胃管挿入による声帯外転麻痺（Nasogastric tube症候群）
木村 百合香（地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 耳鼻咽喉科）
- 2-6 外枝の障害を強く認めた気管挿管による末梢性舌下神経麻痺の1例
谷口 洋（東京慈恵会医科大学附属柏病院 神経内科）
- 2-7 筋萎縮性側索硬化症患者の上肢筋力低下と球症状の関係の検討
内山 侑紀（西宮協立リハビリテーション病院 リハビリテーション科）

13 : 15 ~ 14 : 39

第3群「嚥下評価」

座長：兵頭 政光（高知大学医学部 耳鼻咽喉科）

- 3-1 急性期嚥下評価プロトコール導入の試み
山野 貴史(福岡大学 耳鼻咽喉科)
- 3-2 VEの機能的評価法：SMRCスケールの新規考案
陣内 自治(阿南共栄病院 耳鼻咽喉科)
- 3-3 頭頸部癌治療後嚥下造影の簡易評価法の提案
藤本 保志(名古屋大学 耳鼻咽喉科)
- 3-4 多チャンネル咽頭食道内圧計を用いた正常人の嚥下圧波の伝搬様式の評価
原 稔(長崎大学病院 耳鼻咽喉科)
- 3-5 嚥下造影検査で多種類の模擬食品を使用することの有用性について - 当院における選択 -
宮崎 博子(京都桂病院 リハビリテーションセンター)
- 3-6 咽頭クリアランス定量化システムの改良と実用化に向けての検討
梅崎 俊郎(九州大学医学研究院 耳鼻咽喉科)
- 3-7 パーキンソン病を対象とした日本語版嚥下障害質問票 (SDQ-J) の信頼性の検討
山本 敏之(国立精神・神経医療研究センター病院 神経内科)

14 : 40 ~ 15 : 40

第4群「システム」

座長：梅崎 俊郎（九州大学医学研究院 耳鼻咽喉科）

- 4-1 iPadで何ができるか？《摂食・嚥下領域での検討》
七條 文雄(成美会 鈴江病院 脳神経外科)
- 4-2 急性期病院における脳卒中による嚥下障害への取り組み
上羽 瑠美(東京大学 耳鼻咽喉科)
- 4-3 急性期病院で非常勤リハビリテーション科医師が嚥下機能に関して期待される役割
島田 憲二(西宮協立リハビリテーション病院 リハビリテーション科)
- 4-4 摂食・嚥下講習会による地域医療施設への啓発
廣田 隆一(京都府立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室)
- 4-5 嚥下障害治療とチーム対応
津田 豪太(福井県済生会病院 耳鼻咽喉科・頸部外科)

15 : 40 ~ 16 : 40

第5群「手術」

座長：藤本 保志（名古屋大学大学院 医学研究科 耳鼻咽喉科）

- 5-1 担癌患者に対する誤嚥防止手術症例
石永 一（三重大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科）
- 5-2 慢性期医療現場における誤嚥防止術
金沢 英哲（福島寿光会病院 耳鼻咽喉科）
- 5-3 誤嚥防止を目的とする低侵襲な喉頭摘出術：喉頭中央部切除術
香取 幸夫（仙台市立病院 耳鼻いんこう科）
- 5-4 局所麻酔に塩酸デクスメトミジンを併用した誤嚥防止術症例の検討
河本 勝之（鳥取大学 医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科）
- 5-5 当科での下顎歯肉癌術後患者における経口摂取状態の検討
宮本 真（関西医科大学附属枚方病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

2月5日(土)

9 : 00 ~ 10 : 00

第6群「症例2」

座長：梅野 博仁（久留米大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

- 6-1 上咽頭癌に対して化学放射線治療後に、遅発性に開鼻声・嚥下障害をきたした一例
佐藤 友里（聖隷三方原病院 リハビリテーション科）
- 6-2 誤嚥性肺炎を契機に確定診断後、根治手術を行った再発舌癌症例
片平 信行（愛知医科大学 耳鼻咽喉科）
- 6-3 頭頸部癌治療後の嚥下障害に対して嚥下改善手術を行った2例
戎本 浩史（東海大学 耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍センター）
- 6-4 中咽頭癌に対する放射線治療後の晩期障害と考えられる嚥下障害例
金沢 佑治（神戸市立医療センター中央市民病院 耳鼻咽喉科）
- 6-5 経口的下咽頭部分切除術後の誤嚥に対し、長期の嚥下リハビリを要した一例
丸山 祐一郎（防衛医科大学校 耳鼻咽喉科）

10 : 00 ~ 11 : 00

第7群「病態生理1」

座長：井之口 昭（佐賀大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

- 7-1 睡眠中の嚥下動態と咽喉頭逆流症
佐藤 公則（久留米大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科）
- 7-2 咽喉頭知覚刺激時の脳磁場活動
宮地 英彰（九州大学 耳鼻咽喉科）
- 7-3 ヒト頸部食道の自律神経支配について
三枝 英人（日本医科大学 耳鼻咽喉科学）
- 7-4 健常成人の摂食嚥下時の呼吸および舌圧について
長崎 信一（広島大学 大学院医歯薬学総合研究科病態情報医科学講座）
- 7-5 気管切開孔の圧迫閉鎖による嚥下動態の変化の検討
清原 英之（九州大学医学部 耳鼻咽喉科）

13 : 30 ~ 14 : 42

第8群「病態生理2」

座長：二藤 隆春（東京大学医学部 耳鼻咽喉科）

- 8-1 嚥下機能改善を目的としたカプサイシンフィルムの効果
西窪 加緒里（高知大学 耳鼻咽喉科）
- 8-2 市販されている嚥下食の官能試験ならびに物性に関する研究
渡邊 梨沙（名古屋女子大学）
- 8-3 異なる物性のとろみ液ペアを用いた官能試験による嚥下時のずり速度の検討
藤谷 順子（独立行政法人国立国際研究センター病院 リハビリテーション科）
- 8-4 下顎骨の位置と咽頭期嚥下運動の機能的相関について
中村 毅（日本医科大学 耳鼻咽喉科）
- 8-5 下顎位の変化が舌背挙上時の最大舌圧と舌骨上筋群筋活動に与える影響
福岡 達之（兵庫医科大学ささやま医療センター リハビリテーション室）
- 8-6 嚥下時における輪状軟骨位置の検討 - 超音波画像による観察 -
岩田 義弘（藤田保健衛生大学医学部 耳鼻咽喉科）

14 : 42 ~ 15 : 54

第9群「長期経過」

座長：山脇 正永（京都府立医科大学 総合講座・医学教育学）

- 9-1 嚥下障害を伴う脳卒中例におけるSSPTによる肺炎発症の予測
小西 正訓(中村記念病院 耳鼻咽喉科)
- 9-2 慢性期療養型病院入院症例におけるカニューレ抜去症例の臨床的検討
三野 英孝(医療法人篤友会 坂本病院 療法部言語聴覚療法科)
- 9-3 脳血管障害発症初期に経口摂取困難であった患者の栄養摂取状況の経過
室田 由美子(西大宮病院 リハビリテーション科)
- 9-4 超高齢者における救急治療後の摂食嚥下障害 - 予後因子の検討 -
佐藤 哲也(杏林大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸科、摂食嚥下センター)
- 9-5 嚥下機能改善手術後の長期予後について
安達 一雄(九州大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)
- 9-6 嚥下障害の手術治療後長期観察
棚橋 汀路(日本聴能言語福祉学院)